

CONTENTS

CHAPTER 1 電源を入れる前の準備 5

- 1 ● 各部の名称と機能..... 6
 - 本体全体 / 6
 - 本体前面・背面 / 8
 - 本体左面 / 9
 - 本体右面 / 10
 - 本体底面 / 11
 - AC アダプタ / 12
 - ステータス LED / 13

CHAPTER 2 基本操作 14

- 1 ● 起動と終了..... 15
 - 電源を入れる / 15
 - 電源を切る / 16
 - スリープにする / 17
 - フリーズしてしまった場合には / 18
- 2 ● 電源オプションの利用..... 19
 - 電源オプションの設定 / 19
 - カバーを閉じたときの動作 / 21
 - 詳細な電源設定 / 22
- 3 ● キーボード..... 24
 - 外観 / 24
 - 各部の名称と機能 / 24
 - ファンクションキー / 28
 - コントロールセンター / 29
 - FLEXIKEY / 33
- 4 ● タッチパッド..... 37
 - 各部の名称 / 37
 - タッチパッドの基本操作 / 38
 - タッチパッド機能を無効にする / 38

CHAPTER 3 各デバイスについて 40

- 1 ● 各デバイスの説明..... 41
 - 無線 LAN / 41
 - オーディオ (音量の調整) / 43
 - オーディオ (録音する) / 44
 - WEB カメラ / 46
 - カードリーダー / 46
 - USB3.0/eSATA / 46
 - USB3.0 / 47
 - ネットワーク (LAN) 端子 / 47
 - Mini Display Port / 48
 - HDMI / 48

- 2 ● 外部出力について..... 49
 - 外部出力の手順 / 49

- 3 ● グラフィックス機能について..... 53
 - グラフィックスの設定 / 53

- 4 ● Sound Blaster X-Fi MB3 55
 - Sound Blaster X-Fi MB3 の設定 / 55
 - メニュー / 58

CHAPTER 4 BIOS 設定 59

- 1 ● BIOS 設定について..... 60
 - BIOS 設定画面の起動 / 60
 - BIOS 実行キー / 60
 - BIOS 設定の変更 / 61

- 1 ● バッテリーの使用方法..... 66
 概要／ 66
- 2 ● クリーニング..... 68
 準備するもの／ 68
 パソコン本体・周辺機器の掃除／ 69
- 3 ● Windows の再インストール..... 70
 Windows を再インストールする際の注意事項／ 70
 Windows 7 の再インストール／ 71

ご使用になる前に必ずお読みください

■ パソコンの設置及び動作使用環境について

- ・本製品の使用環境は、温度 10℃～35℃、湿度 8%～80% を超える環境で使用しないでください。故障の原因となります。
- ・本製品の通気口、排気口を塞ぐ又は遮断される場所に設置をすると、パソコン内部が高温となり、動作が不安定となったり、故障の原因となります。
- ・本製品には、落雷等による電源の瞬停（電圧低下）に対する保護機能は搭載されておられません。これを防ぐ手段として、交流無停電電源装置（UPS）等を使用されることを推奨いたします。
- ・本製品は、日本国内でのみご使用ください。

■ ハードディスクについて

- ・ハードディスクは、一般的に消耗部品となっております。重要なデータのバックアップは適時、お客様において行っていただくようお願いいたします。
- ・ハードディスクに保存されたアプリケーション及びデータ等は、いかなる場合であつても弊社は保証いたしません。
- ・ハードディスクは、衝撃、振動、温度等の影響を受けやすい部品です。起動した状態で衝撃、振動を与えないでください。

■ 著作権・商標について

- ・著作権法により保護される映像、画像、音声等を、本製品を使用して取り込んだ場合、個人として私的に使用する場合を除き、権利者に無断でそれらを使用することは、著作権法上禁止されております。また、権利者の許可なく、取り込んだ映像、画像、音声等に変更及びその他改変を加え、著作物の同一性を損なうことも禁じられています。
- ・著作権保護のための信号が含まれた映像を録画することはできません。
- ・権利者の許諾を得ることなく、本製品に付属するソフトウェア及びマニュアルの内容を複製すること及びソフトウェアを賃貸、コピー、リース又は再使用許諾することは、著作権法上禁止されております。
- ・Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標又は商標です。なお、本文中に™、® マークは明記していません。

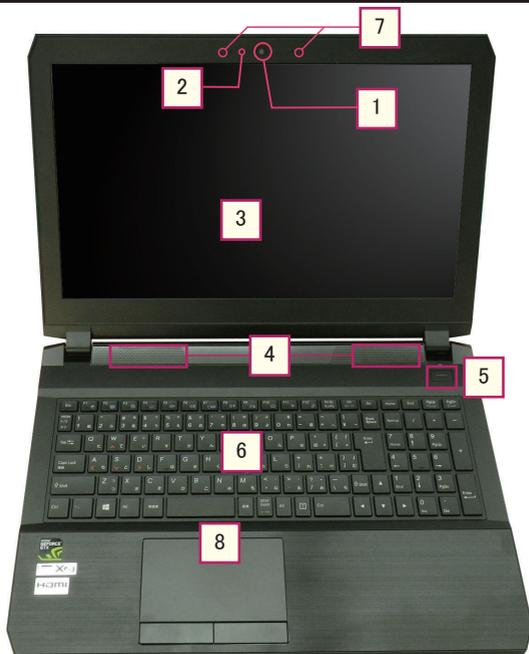
電源を入れる 前の準備

1 ● 各部の名称と機能6

各部の名称と機能

パソコン各部の説明をしています。

本体全体



1 WEB カメラ
メッセンジャー等で使用できる内蔵カメラです。

2 WEB カメラインジケータ
WEB カメラが動作しているとき LED ランプが点灯します。

3 液晶パネル
パソコン上での作業を映し出す液晶画面です。

注意

傷がつかないように取り扱いにはご注意ください。また、液晶パネル開閉時は天板の縁の中央部を持って、急な力を与えないようご注意ください。
(液晶パネル、ヒンジ破損のおそれがあります)

4 **スピーカー**

音声出力を行う本体内蔵スピーカーです。

5 **電源ボタン**

電源ボタンを押すことで本製品の電源のオン・オフを切り替えることが可能です。

※ 電源のオフについては、16 ページを参照してください。

6 **キーボード**

パソコンにデータを入力するときに使用します。詳細は後述のキーボードの項目(24 ページ)をご確認ください。

7 **内蔵ステレオマイクロホン**

音声録音する本体内蔵ステレオマイクロホンです。

8 **タッチパッド**

マウスと同等の機能をもったポインティングデバイスです。

本体前面・背面

**注意**

重いものを本製品に載せないようご注意ください。液晶パネルが破損する可能性があります。

1 通気口**注意**

非常に熱くなることがあります。直接手で触れたり、物で通気口を塞いだりしないようご注意ください。

2 電源端子

本製品付属の AC アダプタを接続します。

注意

過剰な力が加わると破損する場合があります。ご注意ください。

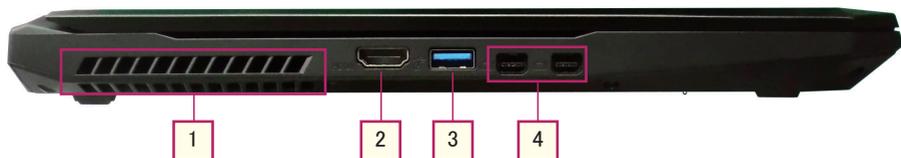
3 USB3.0/eSATA 端子

USB3.0 機器もしくは、eSATA 機器を接続することが可能です。

4 ステータス LED

電源やバッテリーの状況を確認することが可能です。詳細は後述のステータス LED の項目 (13 ページ) をご確認ください。

本体左面



1 通気口



注意

非常に熱くなることがあります。直接手で触れたり、物で通気口を塞いだりしないようご注意ください。

2 HDMI 端子

HDMI 規格に対応した外部ディスプレイを接続することが可能です。

3 USB3.0 端子 (常時給電可能)

プラグアンドプレイに対応した USB3.0 端子です。USB2.0 よりも高速な転送速度を求めるデバイスを接続することが可能です。

常時給電のオン・オフの切り替えは、電源「オフ」の状態ですべて【Fn】 + 【電源ボタン】を同時に押します。

ワンポイント

常時給電

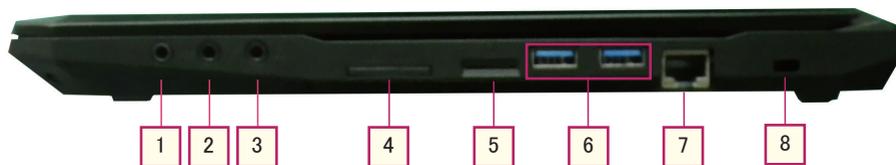
パソコン本体の電源がオフの状態 (シャットダウン・スリープ・休止状態) でも、USB コネクタに USB バスパワーを供給することが可能です。

AC アダプタを接続している場合、もしくは AC アダプタを接続していなくてもバッテリー残量が 20% 以上ある場合に動作します。

4 Mini Display Port 端子

Mini Display Port 端子に対応した外部ディスプレイを接続することが可能です。

本体右面



1 S/PDIF (オプティカル) 出力端子
市販の S/PDIF 機器を接続することが可能です。

2 マイクロホン端子
市販のマイクロホンを接続することが可能です。

3 ステレオヘッドホン端子
市販のヘッドホンやスピーカーを接続することが可能です。

4 マルチカードリーダー
SD カード (SD/SDHC/SDXC) ・ MMC に対応しています。



注意

市販されているすべてのカード、容量に対して動作を保証するものではありません。

5 SIM カードスロット
本製品では使用できません。

6 USB3.0 端子
プラグアンドプレイに対応した USB3.0 端子です。USB2.0 よりも高速な転送速度を求めるデバイスを接続することが可能です。

7 ネットワーク (LAN) 端子
10/100/1000 Base-TX の転送をサポートします。

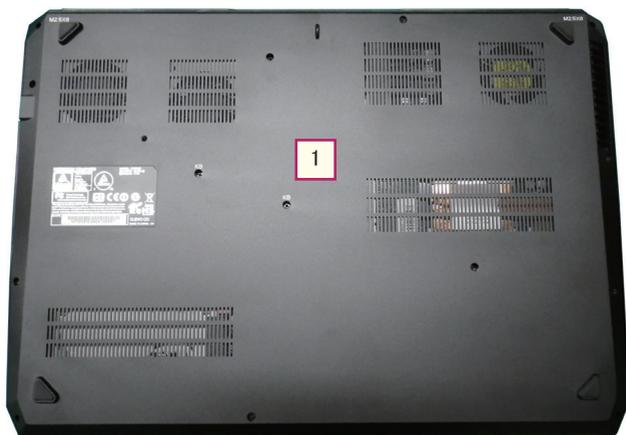
8 ケンジントンロック
市販のケンジントンタイプのセキュリティロックを施すことで、本製品を盗難などの被害から守ることが可能です。



注意

すべての被害を防ぐことを保証するものではありません。

本体底面



1

システムデバイスカバー

CPU、メモリなどの機器がこのカバーの下に配置されています。

ACアダプタ



- 1 ACアダプタ**
AC 電圧から一定の DC 電圧に変換します。

注意

動作中は高温になります。燃えやすいものや溶けやすいものなどの上に置かないでください。

- 2 DC アウト端子**
ノートパソコン側に接続します。

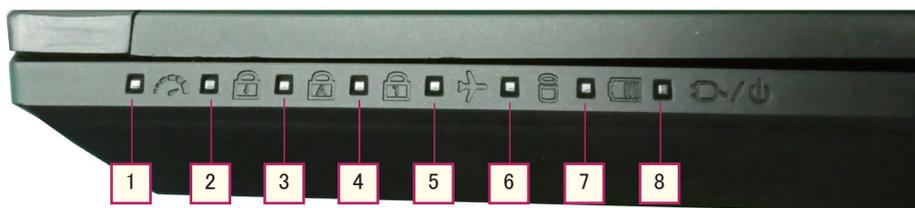
- 3 AC コード**
室内の AC 電源コンセント口にプラグを差し込みます。

注意

トラブルや予期せぬ事故を防ぐために、OA タップを使わずに壁付けのコンセントから直接電源をとるようにしてください。

ステータス LED

ステータス LED は、ランプ表示でノートパソコンの操作状態を判別できる機能です。



- 1 **NvidiaVGA ランプ**
NVIDIA グラフィックチップで動作中：緑色に点灯
Intel グラフィックチップで動作中：消灯
- 2 **ScrollLock ランプ**
ScrollLock 有効時：緑色に点灯
- 3 **CapsLock ランプ**
CapsLock 有効時：緑色に点灯
- 4 **NumLock ランプ**
NumLock 有効時：緑色に点灯
- 5 **機内モードランプ**
機内モード有効時：緑色に点灯
- 6 **ハードディスクアクセスランプ**
ハードディスクアクセス中：緑色に点滅
- 7 **バッテリーランプ**
充電中：橙色に点灯
フル充電状態：緑色に点灯
バッテリー容量が少ない状態：橙色に点滅
- 8 **電源ランプ**
電源オフ及びコンセント接続時：橙色に点灯
電源オン時：緑色に点灯
スリープモード有効時：緑色に点滅
USB ポートの常時給電機能がオンの時：橙色に点滅

基本操作

1 ● 起動と終了	15
2 ● 電源オプションの利用	19
3 ● キーボード	24
4 ● タッチパッド	37

1

起動と終了

電源の入れ方、および電源の切り方を説明しています。

電源を入れる

1. ACアダプタのDCアウト端子を本体に接続します。

 注意

正常に接続された状態



上記写真は正常に接続した状態です。
必要以上に強く押し込まないでください。
破損の原因になります。

 注意

バッテリー駆動で使用する場合、手順「1」、「2」の作業は不要です。

2. ACアダプタのACプラグをコンセントに差し込みます。

 注意

壁付けのコンセントから直接電源を取るようにはしてください。

3. 電源ボタンを押します。



電源を切る

1. スタートボタンをクリックします。

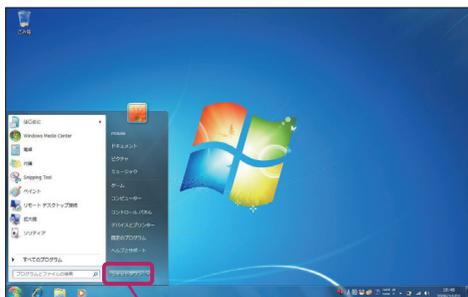


「スタート」ボタンをクリックします。

ワンポイント

キーボードの「Windows (ウィンドウズ) 」キーを押しても、「スタート」ボタンをクリックした時と同じ操作が可能です。

2. シャットダウンをクリックします。



「シャットダウン」をクリックします。

注意

いきなり電源スイッチを押して電源をオフにすると、Windows のシステムが壊れる可能性があります。電源をオフにするときは、正しい手順で操作してください。

スリープにする

1. スタートボタンをクリックします。



「スタート」ボタンをクリックします。

ワンポイント

スリープは、直前の作業状態をメモリとハードディスクに保存した状態で、Windowsを終了します。Windowsの終了後は、メモリだけに通電し続けます。スリープ状態から電源ボタンを押すと、5秒程度で再開できます。

2.  ボタンをクリックします。

1  をクリックします。

2 「スリープ」をクリックします。

ワンポイント

パソコン本体の電源ボタンを押すと再開できます。また、機種によっては、キーボードの任意のキーを押すか、マウスを操作することでスリープ状態を解除できることがあります。

フリーズしてしまった場合には

1. 【Ctrl】【Alt】を押しながら【Delete】キーを押します。



2 「再起動」または「シャットダウン」をクリックします。

1 をクリックします。

※ 表示されなかった場合は、「手順 2」へ進んでください。

ワンポイント

「フリーズ」とは、パソコンの動作が停止し、キーボードやマウスの操作を受け付けなくなってしまう状態のことです。

注意

「再起動」「シャットダウン」ともに動作しない場合は、「手順 2」を行ってください。

2. 電源ボタンを長押しします。(強制終了)



電源ボタンを5～6秒押し続けます。

注意

この操作は、緊急時以外行わないでください。正常に動作しているときにこの動作を行うとWindowsのシステムが破損する可能性があります。また、強制終了後は、再度パソコンの電源を入れ、正常に起動することを確認してください。

2

電源オプションの利用

ここでは製品の電源管理とその効率的な方法について説明します。

電源オプションの設定

Windows の電源オプションでは、パソコンに対して省電力に関する設定を行うことができます。この機能を利用することで、パソコンを使用していない場合に消費電力を抑えることができます。また、パソコン使用中でも、ディスプレイの明るさ(輝度)を下げることで、使用中の電力を抑えることができます。

1. コントロールパネルを開きます。



1 「スタート」ボタンをクリックします。

2 「コントロールパネル」をクリックします。

2. システムとセキュリティをクリックします。



「システムとセキュリティ」をクリックします。

3. 電源オプションをクリックします。



「電源オプション」をクリックします。

4. 「バランス (推奨)」プランに設定する場合



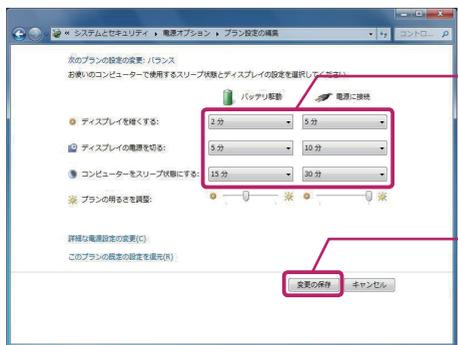
「バランス (推奨)」のプランを変更する場合は、「プラン設定の変更」をクリックします。



1 「バランス (推奨)」のプランを変更する場合は、「プラン設定の変更」をクリックします。

2 画面の明るさを調整します。

5. プラン変更と変更の保存



1 各項目の「▼」をクリックして、各時間設定を行います。

2 「変更の保存」をクリックします。

ワンポイント

初期構成は、「バランス (推奨)」に設定されています。プラン変更を行わないで、可能な限り電力の消費を抑えたい場合は、「省電力」にチェックを入れます。

ワンポイント

画面の明るさを調整した場合。



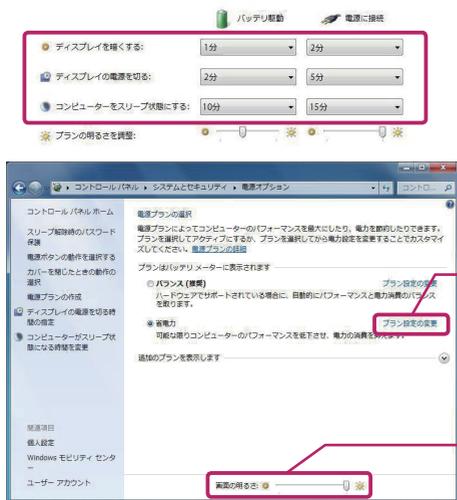
↑
連動します。

●電源接続で画面の明るさを調整した場合。



↑
連動します。

6. 「省電力」プランに設定する場合

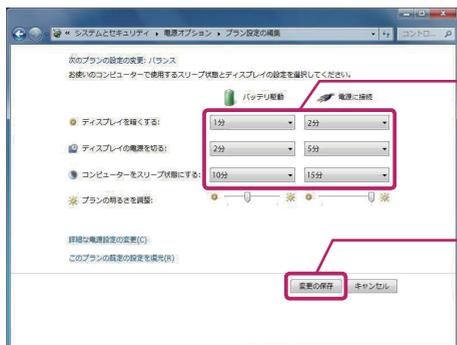


「省電力」にチェックを入れた場合に設定されるプランになります。

1 「省電力」のプランを変更する場合は、「プラン設定の変更」をクリックします。

2 画面の明るさを調整します。

7. プラン変更と変更の保存

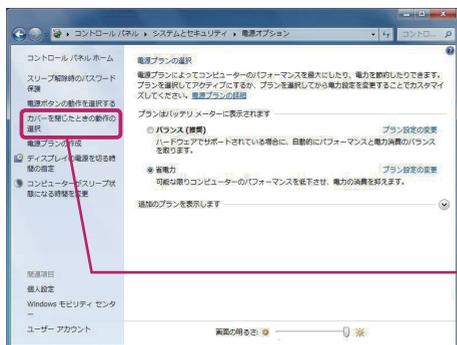


各項目の「▼」をクリックして、各時間設定を行います。

2 「変更の保存」をクリックします。

カバーを閉じたときの動作

1. カバーを閉じたときの動作の選択をクリックします。



「カバーを閉じたときの動作の選択」をクリックします。

2. 設定を変更します。

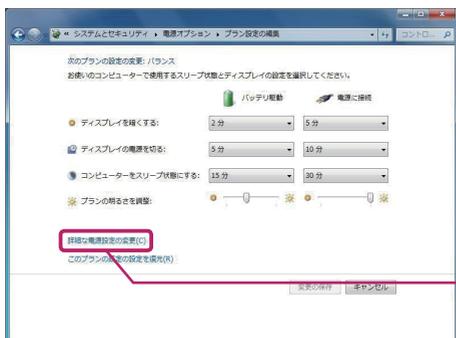


設定を変更します。

「変更の保存」をクリックします。

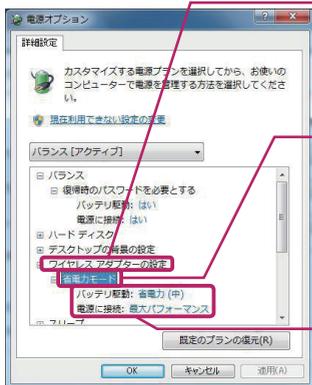
詳細な電源設定

1. 詳細な電源設定の変更をクリックします。



「詳細な電源設定の変更」をクリックします。

2. 省電力モードを変更します。



1 「ワイヤレスアダプターの設定」をダブルクリックします。

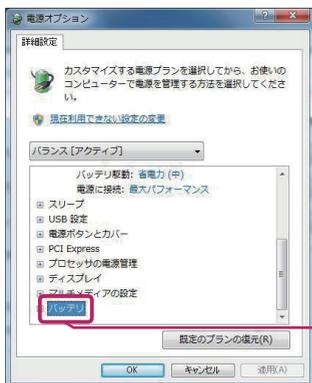
2 「省電力モード」をダブルクリックします。

3 それぞれの項目をクリックし、プルダウンメニューから任意の設定をクリックします。

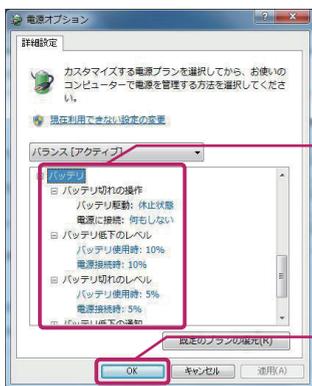
ワンポイント

最大パフォーマンス
省電力(低)
省電力(中)
省電力(高)
から設定を選択します。

3. バッテリーの設定を変更します。



「バッテリー」をダブルクリックします。



設定を変更します。

「OK」ボタンをクリックします。

ワンポイント

各項目の設定値は以下になります。

バッテリー切れの操作

- ・何もしない (※)
- ・休止状態
- ・スリープ状態
- ・シャットダウン

バッテリー低下レベル

- ・パーセント入力

バッテリー切れのレベル

- ・パーセント入力
- バッテリー低下の通知
- ・オフ
- ・オン

バッテリー低下の操作

- ・何もしない
- ・休止状態
- ・スリープ状態
- ・シャットダウン

省電力移行バッテリーレベル

- ・パーセント入力

※ 「電源に接続」のみ選択可能

3

キーボード

キーボードの各部名称と機能を説明しています。

外観



※製品により形状、キー配列が異なります。

各部の名称と機能

1 Esc (エスケープ) キー

設定の取り消しや、実行を中止するときに使用します。



2 ファンクションキー

アプリケーションや OS によって機能を割り当てることができます。



3 テンキー

【NumLock】キーを押して、機能をオンにすることで数字キーとして使用することができます。【NumLock】キーがオフの状態では、数字の下に書かれた機能(次ページを参照)が実行されます。四則計算記号や「Enter」キーは、そのまま使用できます。



4

Prt Sc (プリントスクリーン) キー

表示されている画面をコピーするときに使用します。

Insert (インサート) キー

文字の挿入 / 上書きを切り替えるときに使用します。

Scrol Lk (スクロールロック) キー (【Fn】 + 【Ins】)

画面のスクロールをロックするときに使用します。

Delete (デリート) キー

カーソル直後の文字を削除します。

Home (ホーム) キー

カーソルを行の最初や文書の最初に移動させるときに使用します。

End (エンド) キー

カーソルを行の最後や文書の最後に移動させるときに使用します。

PgUp (ページアップ) キー

前のページに切り替えるときに使用します。

PgDn (ページダウン) キー

次のページに切り替えるときに使用します。

Pause (ポーズ) キー (【Fn】 + 【PgUp】 キー)**Break (ブレイク) キー (【Fn】 + 【PgDn】 キー)**

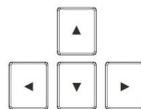
ソフトウェアによっては動作が割り当てられており、実行されている命令を中断したり、ブレイク信号を送ります。



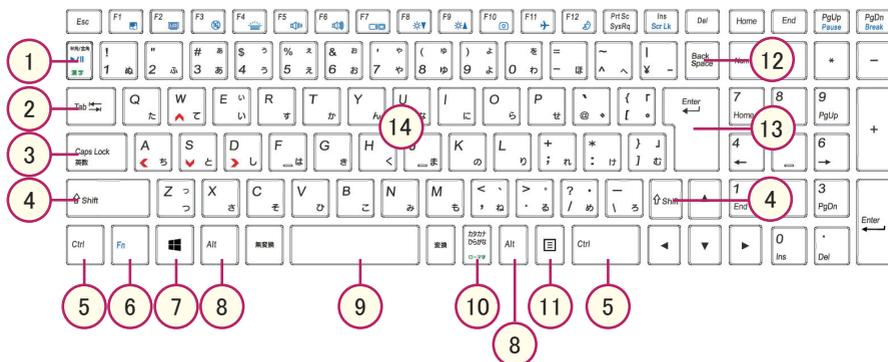
5

カーソルキー

カーソルを移動させるときなどに使用します。



6 特殊キー / 文字入力キー



1 半角 / 全角キー

日本語入力機能のオン・オフを切り替えます。

2 Tab キー

次の項目へカーソルを移動させます。【Shift】キーを押しながら【Tab】キー (Shift+Tab) を押すと、一つ前の項目へカーソルが移動します。文字入力時に押すと「タブ」が挿入され、カーソルが右へ移動します。

3 Caps Lock (キャプスロック) キー

入力する英字の大文字・小文字を切り替えます。【Shift】キーを押しながら【Caps Lock】キー (Shift+Caps Lock) を押すと、Caps Lock がオンになります。解除するには同様の操作を行います。

4 Shift (シフト) キー

【Shift】キーを押しながら英字を入力すると、大文字・小文字が反転します。他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

5 Ctrl (コントロール) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

6 Fn (ファンクション) キー

他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。

※詳細は後述の「ファンクションキー」をご参照ください。

- 7 Windows (ウィンドウズ) キー
スタート画面の表示および、他のキーと組み合わせ特殊な操作が行えます。
- 8 Alt (オルト) キー
他のキーと組み合わせて使用され、特殊な操作を行う場合に使用します。
- 9 スペースキー
空白の挿入や、文字変換などに使用します。
- 10 カタカナ / ひらがなキー
【Alt】キーを押しながら【カタカナ / ひらがな】キー (Alt+ カタカナ / ひらがな) を押すと、「ローマ字入力」と「かな入力」を切り替えることができます。
- 11 アプリケーションキー
マウスの右クリックに該当する機能があります。使用するアプリケーションにより動作が異なります。
- 12 Back Space (バックスペース) キー
カーソルの直前の文字を削除します。
- 13 Enter (エンター) キー
設定の決定や、アプリケーションの実行などに使用します。
- 14 文字入力キー
アルファベット、ひらがな、カタカナ、数字、記号などを入力するためのキーです。【Ctrl】【Alt】【Shift】キーなどと組み合わせて使用することにより、特殊な操作を行うことができます。

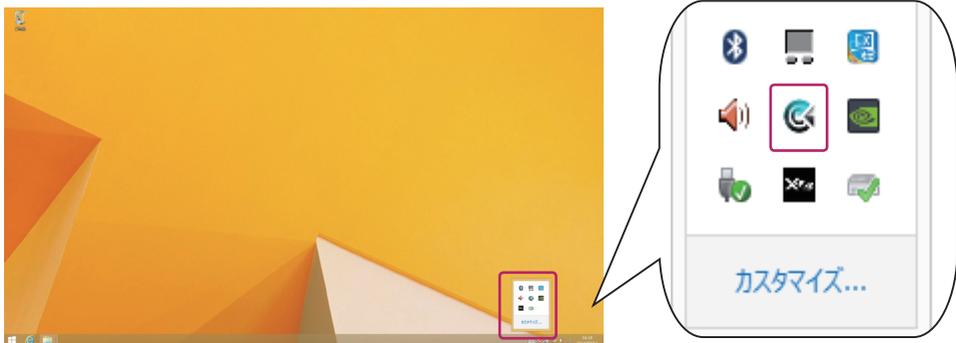
ファンクションキー

【Fn】キーと組み合わせて使用した場合の機能の一覧です。

グラフィック表示	キー操作	システムコントロール
	Fn + F1	タッチパッドの有効・無効を切り替えます。
	Fn + F2	LCD バックライトの有効・無効を切り替えます。
	Fn + F3	音声ミュート機能の有効・無効を切り替えます。
	Fn + F4	LED キーボードの点灯・消灯を切り替えます。 キーを押すたびに、消灯→点灯(弱)→点灯(強)が切り替わります。
	Fn + F5	ボリュームを小さくします。
	Fn + F6	ボリュームを大きくします。
	Fn + F7	ディスプレイ出力を① LCD のみ②外部出力のみ ③ LCD & 外部出力のいずれかに切り替えます。
	Fn + F8	液晶ディスプレイ表示を暗くします。
	Fn + F9	液晶ディスプレイ表示を明るくします。
	Fn + F10	WEB カメラの有効・無効を切り替えます。
	Fn + F11	機内モードの有効・無効を切り替えます。
	Fn + F12	サスペンド状態になります。

コントロールセンター

頻繁に使用するデバイスや各種管理機能にすばやくアクセスすることができます。コントロールセンター画面の表示させるためには下記のタスクバーアイコンをダブルクリックするか、Fn+ESC キーを押すことで表示することができます。



■ ドライビング・モード

コントロール・センター上部にあるアイコンをクリックして、ドライビング・モードを設定することができます。

各モードは個別のプロファイル設定を持っています。
(詳しくは次ページをご確認ください)

静音



省電力



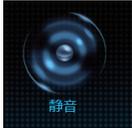
パフォーマンス



エンターテイメント



■各ドライビングモードのデフォルトプロファイル

モード	静音	省電力	パフォーマンス	エンターテイメント
アイコン				
液晶バックライト輝度	80%	40%	100%	100%
省エネ設定	バランス	energy star	パフォーマンス	バランス
スリープボタンの動作	休止状態	休止状態	休止状態	休止状態
タッチパッド	有効	有効	有効	有効
Web カメラ	無効	有効	有効	有効
Windows キー	有効	有効	有効	有効
ファンの動作	自動	自動	自動	自動
機内モード	OFF	ON	OFF	ON

■各機能の操作と呼び出し画面

コントロールセンター上のボタンを操作することで様々な操作を行うことができます。
システムプログラム



デバイス



ゲーミング



	アイコン	名称	機能の内容
システムプログラム		音量調整	スピーカーボリュームの設定ができます
		液晶 バックライト 輝度調整	液晶画面の輝度が調整できます
		ファン速度	本体内部の冷却ファン動作速度を最大 / 自動 / ランダム + (手動設定) に変更することができます (スリープ、シャットダウン、再起動後は自動的に “自動” に設定されます)
		省エネ	パフォーマンス / バランス / Energy Star の 3 種類から電源プランを変更することができます
		スリープ ボタン	表記のアイコンをクリックした際の動作を休止状態 / スリープの 2 種類から選択することができます (キーボード上のスリープボタンとは異なります)
		デスクトップ の背景	壁紙の設定画面が開きます
		ディスプレイ スイッチ	外部ディスプレイ接続時の動作を選択することができます (Fn+F7 キーを押した時と同じ動作です)
		タイムゾーン	時刻設定画面が開きます
デバイス		バックライト キーボード	バックライトキーボードを点灯します (0 : 消灯、1 : 点灯 (弱) 2 : 点灯 (強))
		タッチパッド	タッチパッド動作を有効 / 無効にすることができます。(無効にした場合タッチパッド操作ができなくなります。再度有効にする場合はFn+F1を押すか、マウスを使用してください)
		カメラ	カメラデバイス動作を有効 / 無効にすることができます
ゲーミング		左ウィンドウズ キー	ウィンドウズキー動作を有効 / 無効にすることができます
		ヘッドフォン	音楽 / ゲーム / シアター / ダイレクトの 4 種類から音響エフェクトを選択することができます
		SoundBlaster X-FiMB3	SoundBlaster X-FiMB3 の動作を有効 / 無効にすることができます。
		FLEXIKEY	ホットキー設定の登録画面が開きます。(詳細は次ページ)

FLEXIKEY

FLEXIKEY アプリケーションは、複数のキー入力、アプリケーションの起動、入力テキストを特定のキーに割り当てることができます。
また、特定のキーを無効にすることによりゲーム中等の不要なキー入力を防ぐことができます。これらの設定は 12 のプロファイルでそれぞれ保存することができます。

1. 基本操作



- 1 追加・・・ユーザープロフィールを追加します。最大 12 プロファイルまで追加登録が行えます。
- 2 削除・・・設定したプロフィールを削除します。
- 3 インポート・・・「エクスポート」で保存したファイルを読み込みます。
- 4 エクスポート・・・設定した内容を XML ファイル形式で保存します。
- 5 保存・・・設定を保存します。
- 6 リセット・・・プロフィールごとに設定をリセットします。
- 7 終了・・・アプリケーションを終了します。
- 8 有効・・・プロフィール毎に設定した機能の有効・無効を切り替えます。

ワンポイント

このアプリケーションは⑥で当機能が有効になっている間の動作を設定します。
無効にする場合は⑧のチェックボックスを外すか、「Fn」+「BackSpace」キーを押すことで設定の変更が可能です。

2. エクスプレスキー



複数のキーを任意の単一キーに割り当てることができます。

3. アプリ起動



任意の単一キーにお好みのアプリケーションの起動を割り当てることができます。

4. エキスプレステキスト



任意の単一キーにお好みのテキスト入力を割り当てることができます。

5. 無効



任意のキー入力を無効に設定することが出来ます。

6. マウス



キーボードと同様にマウスにも2~4の機能を割り当てることが出来ます。

7. 統計



任意のアプリケーションで 사용되는キー入力回数を記録することができます。
また、クイック無効化のゲージでしきい値を設定することにより、記録した結果から入力回数
の少ないキーを一括で無効にすることができます。
(無効に設定されたキーは、この設定画面上で色が灰色に変わります。)

4

タッチパッド

タッチパッドの各部名称、使い方を説明しています。

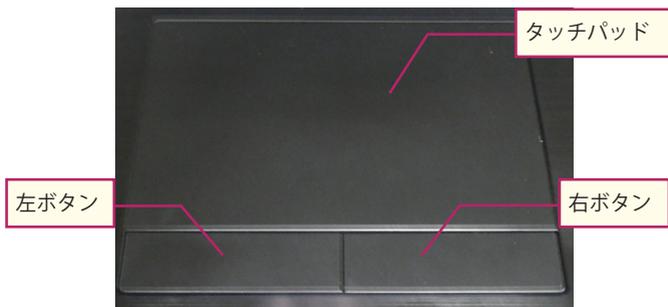
各部の名称

タッチパッドはマウスと同等の機能を有するポインティングデバイスです。パッド上での指の動きにあわせて Windows 上のカーソルがタッチパッドの機能にあわせた動作をします。詳細な動作については以下の表をご確認ください。

機能	左ボタン	右ボタン	同等のタッピング作業
実行	ダブルクリック		ダブルタップ
選択	クリック		タップ
ドラッグ	クリックしたままカーソルを動かす		ダブルタップの2回目のタップをはずさず、カーソルを動かす
コンテキストメニュー		クリック	

※タッチパッドの利用に関して※

1. ダブルタップは素早く行ってください。間隔が空くとシングルクリックと認識されます。
2. 指は清潔かつ乾いた状態で操作してください。濡れた指で操作をすると故障の原因となります。
3. タッチパッドは常に清潔にしてください。汚れが付着するとカーソル動作に影響を与えます。
4. タッチパッドは軽くふれてください。強くタッチしても良い反応は得られず、故障の原因となります。



※製品によって形状は異なります。

タッチパッドの基本操作

クリック (シングルクリック)



左ボタンを素早く押しはなします。

ダブルクリック



クリックを2回続けて行います。

スクロール



タッチパッド右端で縦スクロールを、下端で横スクロールを行うことができます。

タッチパッド機能を無効にする

1. 「コントロールパネル」を開いたら、「ハードウェアとサウンド」をクリックします。



ワンポイント

ファンクションキー、「Fn」+「F1」キーを使った操作でも、タッチパッド機能の「有効」「無効」の切り替えが可能です。

2. 「マウス」をクリックして、マウスのプロパティを開きます。

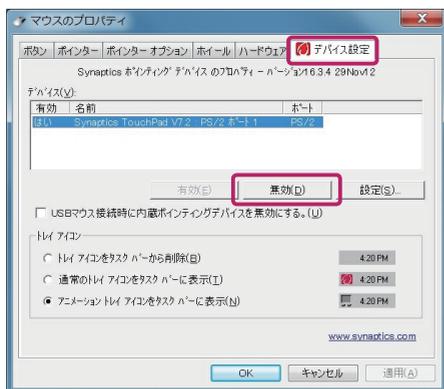


ワンポイント

コントロールパネルを一覧表示にしている場合も、「マウス」をクリックして、マウスのプロパティを開きます。



3. 「デバイス設定」を開いて、「無効」をクリックします。

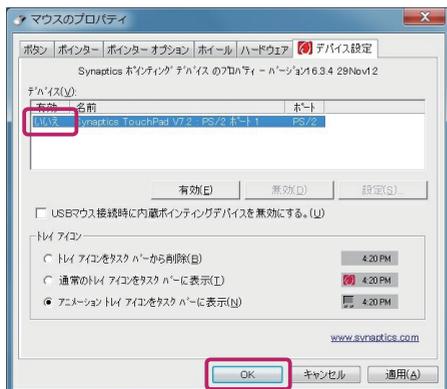


注意

警告が表示されたら、「はい」をクリックして、無効にする作業を進めてください。



4. 「いいえ」になっていることを確認したら、「OK」をクリックします。



ワンポイント

無効の解除は、「有効」→「適用」の順にクリックします。



各デバイスについて

- 1 ● 各デバイスの説明41
- 2 ● 外部出力について51
- 3 ● グラフィックス機能について55
- 4 ● Sound Blaster X-Fi MB357

各デバイスの説明

製品に搭載されている各種デバイスの説明をしています。

無線 LAN

1. デスクトップの画面右下、タスクトレイにある「インターネットアクセス」アイコンをクリックします。



画面右下のタスクトレイにあるアイコンをクリックします。

注意

ご家庭で無線 LAN を使用するには、無線 LAN ルータが必要になります。また、各種無線 LAN スポットで使用する場合は、それぞれの契約が必要になります。

2. アクセスポイントを選択します。



1 「アクセスポイント」をクリックします。

2 「自動的に接続する」にチェックが入っていることを確認して「接続」をクリックします。

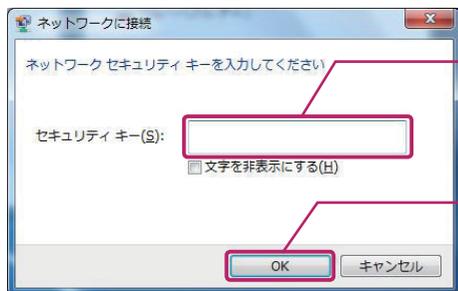
注意

無線 LAN デバイスが「有効」になっていることを確認してください。「有効」「無効」の切り替えは、「Fn」+「F11」キーで行います。

注意

ご自宅のルータ（アクセスポイント）にステルス機能が働いていると、無線 LAN デバイスが有効になっていても、アクセスポイントが表示されない可能性があります。ステルス機能については、ルータ付属のマニュアルをご確認ください。

3. セキュリティキーを入力します。



1 「セキュリティキー」を入力します。

2 「OK」をクリックします。

ワンポイント

セキュリティキーは、ルータ(アクセスポイント)に設定されています。市販の無線LANルータなどの場合には、ルータの取扱説明書をご確認ください。

4. 接続完了です。



シグナルの強さが表示されて、接続が完了となります。

オーディオ（音量の調整）

1. デスクトップの画面右下、タスクトレイにある「スピーカー」アイコンをクリックします。



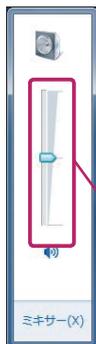
「スピーカー」
をクリックしま
す。

注意

スピーカーアイコンに禁止を示すマークがついている場合、ミュート（消音）に設定されています。



2. 音量を調節します。



音量を調節しま
す。

ワンポイント

音量調節は「スタートボタン > コントロールパネル > ハードウェアとサウンド > サウンド（システム音量の調節）」からも行うことが可能です。

**ワンポイント**

ステレオヘッドホン端子に、スピーカーまたはヘッドホンを接続した場合、接続した機器への出力に切り替わります。内蔵スピーカーと外部機器との同時出力には対応していません。

※ファンクションキーでの音量調整

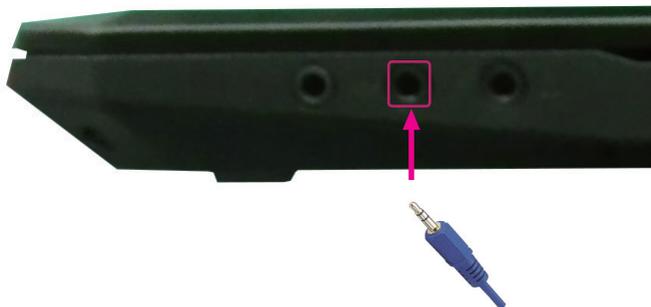
【Fn】 + 【F3】：ミュート（消音）になります。

【Fn】 + 【F5】：押すごとに音量が小さくなります。

【Fn】 + 【F6】：押すごとに音量が大きくなります。

オーディオ（録音する）

1. マイクまたは外部機器を接続します。



ワンポイント

マイクロホン端子に、マイクまたは外部機器を接続した場合、接続した機器からの入力に切り替わります。マイクロホン端子に接続しない場合、もしくは接続した機器を取り外した場合には、自動で内蔵マイクからの入力に切り替わります。

2. コントロールパネルを起動します。



1 「スタートボタン」をクリックします。

2 「コントロールパネル」をクリックします。

3. 「ハードウェアとサウンド」をクリックします。



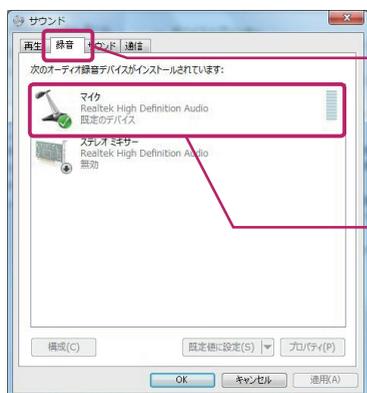
「ハードウェアとサウンド」をクリックします。

4. 「サウンド」をクリックします。



「サウンド」をクリックします。

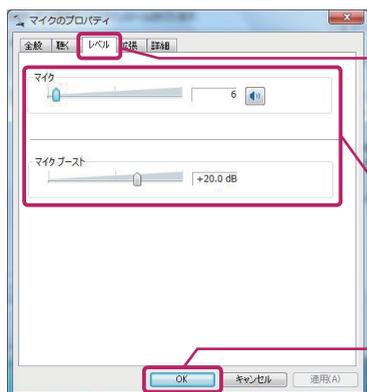
5. 「録音」をクリックし、「マイク」をダブルクリックします。



1 「録音」をクリックします。

2 「マイク」をダブルクリックします。

6. 音量・マイクブーストを設定します。



1 「レベル」をクリックします。

2 「音量」「マイクブースト」を設定します。

3 「OK」をクリックします。

ワンポイント

マイクの録音ボリュームを最大にしても、入力音量が小さい場合、マイクブーストをかける事で改善します。初期値 0dB から、10dB 単位で最大 30dB まで設定可能です。

注意

ブースト値を上げすぎると、ハウリングやノイズの原因になります。

WEB カメラ

各種メッセージャーにおいて、対話時に使用できます。



カードリーダー

本製品のカードリーダーは、SD カード (SD/SDHC/SDXC)、マルチメディアカード (MMC) が使用可能です。

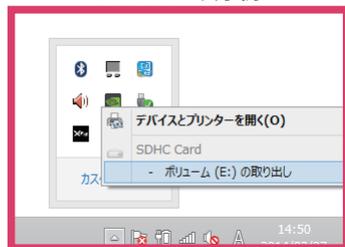


SD カード



※挿入の向き

タスクバー表示例



注意

カード挿入の向きにご注意ください。

注意

挿入したカードを取り外す際にはデータやカード自体の故障を防ぐために必ずマイコンピュータまたはタスクバーより安全な取り外しをおこなってください。

USB3.0/eSATA

USB3.0 機器もしくは、外付の SATA デバイスが接続できます。プラグアンドプレイに対応しています。



eSATA



コネクタ



※挿入の向き

USB3.0



コネクタ



※挿入の向き

注意

右の写真の向きで挿入してください。異なる向きで無理に挿入するとコネクタが破損する恐れがあります。

USB3.0

USB3.0 ポートは最大 5 Gbps の速度で様々なデバイスを接続します。プラグアンドプレイに対応しています。



HDMI 端子側の USB3.0 ポートは、常時給電が可能です。常時給電の「オン」・「オフ」の切り替えは、電源オフの状態ですべて【Fn】+【電源ボタン】を同時に押します。



ネットワーク (LAN) 端子

本製品には 10/100/1000 Base-TX に対応した LAN コネクタが搭載されています。ご使用の環境にあった LAN ケーブルを接続することで ADSL や光接続などを利用した高速データ転送を行うことが可能です。

■ LAN (ローカルエリアネットワーク)

接続には UTP LAN ケーブル (一般家庭や通常のオフィス環境で使用されるケーブル) を使用してください。接続する際、コネクタから「カチッ」と音がするまでしっかりと差し込んでください。



※注意※

ネットワーク (インターネットや社内 LAN) への接続の設定に関してはご契約のプロバイダ、または社内のネットワーク管理者にご相談ください。また、ネットワーク接続する際にはウイルスやスパイウェアの被害から守るためにセキュリティソフトの導入をご検討ください。

Mini Display Port

Mini Display Port は、Mini Display Port 対応デバイスを接続します。
最大で 3860 x 2160 の解像度での表示が可能です。



注意

表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。

HDMI

HDMI ポートは、HDMI 対応デバイスを接続します。
最大で 1920 x 1080 の解像度での表示が可能です。



注意

表示可能な解像度はディスプレイにより異なります。

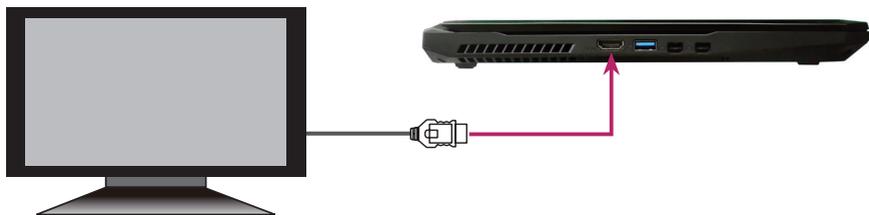
2

外部出力について

外部出力の方法について説明しています。

外部出力の手順

1. 外部出力機器を接続します。



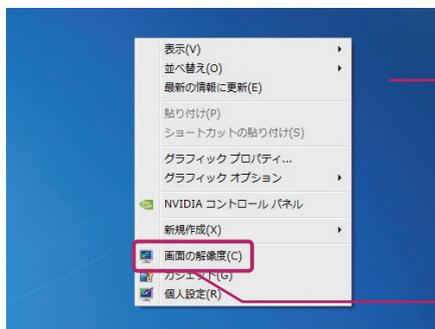
注意

本製品は、HDMI 1台、Mini Display Port 2台の合計3台までディスプレイを接続することが可能です。本体ディスプレイを表示している場合は、外付ディスプレイを同時に2台まで表示可能です。本体ディスプレイを表示していない場合は、外付ディスプレイを同時に3台まで表示可能です。

※ 3画面クローン表示を行いたい場合は、P.52の7項へ進んでください。

(2～6の方法では3画面のクローン表示はできません。)

2. モニタの設定を開きます。



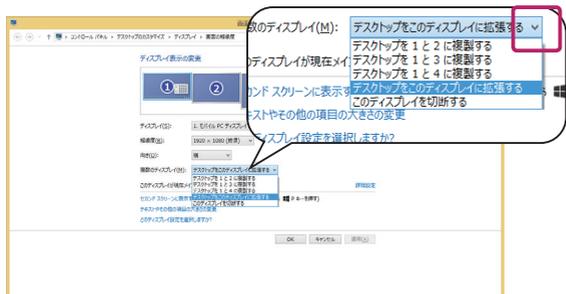
1 デスクトップの何も無い所を右クリックします。

注意

外部ディスプレイを接続した状態で作業を行ってください。

2 「画面の解像度」をクリックします。

3. 「複数のディスプレイ」のプルダウンをクリックし、任意の設定を選択したら、「適用」をクリックします。



ワンポイント

「複数のディスプレイ」のプルダウンには、以下の選択肢が表示されます。(モニタの接続状況により表示される選択肢が変化します。)

「表示画面を複製する」

接続モニタに同じ解像度で同じ画面を表示します。

「表示画面を拡張する」

接続モニタを並べて、1台の長いモニタのように表示します。

「デスクトップを○のみに表示する」

一方のモニタのみに表示し、もう一方のモニタには、信号が通らなくなります。

「デスクトップを○と△に複製する」

○と△のモニタに同じ解像度で同じ画面を表示します。

「デスクトップをこのディスプレイに拡張する」

選択しているモニタを拡張表示に追加します。

※既に3台拡張表示している場合にこちらを選ぶと、既に表示していた3台のモニタのいずれかが表示 OFF になります。

「デスクトップを○と△に拡張する」

○と△のモニタを並べて1台の長いモニタのように表示します。

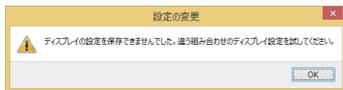
「このディスプレイを切断する」

選択されたモニタの表示を切断します。

※○と△には「ディスプレイ表示の変更」に表示されている番号が入ります。

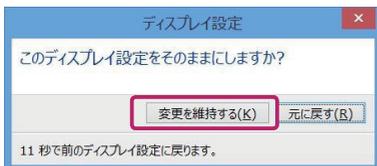
ワンポイント

3画面拡張表示した状態で2画面の複製表示を選択して「適用」をクリックすると以下のウィンドウが表示される場合があります。



ウィンドウが表示された場合は、2画面の複製表示で使用しないモニタを「このディスプレイを切断する」で表示を切断した上で、再度複製を選択してください。

4. 「変更を維持する」をクリックします。



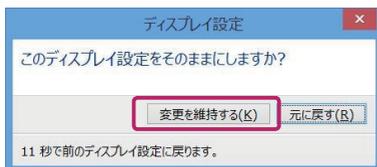
5. 解像度の設定をします。「解像度」のプルダウンをクリックし、必要に応じて解像度を設定したら、「適用」をクリックします。



ワンポイント

「表示画面を複製する」の設定で、種類の異なるモニタを接続している場合、共通の解像度のみ設定可能となります。一方がワイドモニタ、もう一方がスクエアモニタの接続で複製設定の場合、解像度によっては左右（もしくは上下）に黒帯が表示される「レターボックス」の状態になることがあります。

6. 「変更を維持する」をクリックします。



7. 3 画面クローン表示を行う場合、外部モニタを接続した状態で、デスクトップ上で右クリックをしてメニューを表示させ、「グラフィックス・オプション」→「出力先」→「クローン・ディスプレイ 3」の順にクリックします。



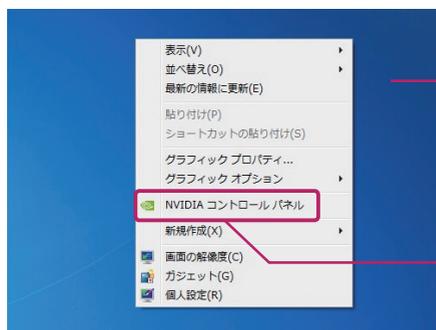
グラフィックス機能について

グラフィックス機能について説明しています。

本製品は、CPU 内蔵グラフィックスと NVIDIA 高性能グラフィックスをシステムの負荷状態によって自動的に切り替えます。自動制御することで、バッテリーの駆動時間を延ばすことが可能になります。また、アプリケーション単位で、指定したグラフィックス能力で動作させることも可能です。

グラフィックスの設定

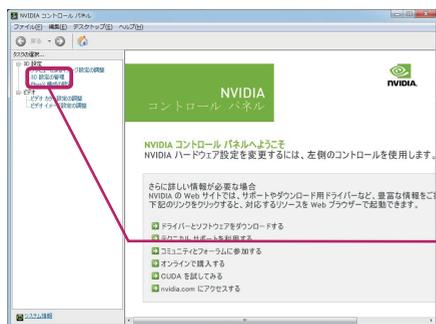
1. NVIDIA コントロールパネルを開きます。



1 デスクトップの何も無い所を右クリックします。

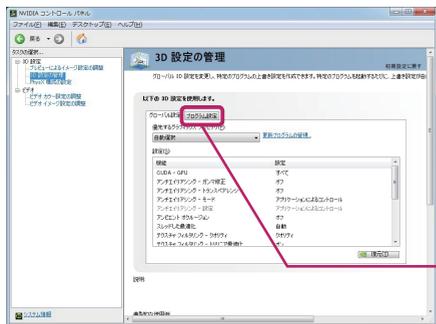
2 「NVIDIA コントロールパネル」をクリックします。

2. NVIDIA コントロールパネルが起動します。



左枠にある「3D設定の管理」をクリックします。

3. 3D 設定の管理が開きます。



「プログラム設定」タブをクリックします。

4. グラフィックス能力の設定をします。



1 「追加」をクリックし、設定を行うアプリケーションを選択します。

2 上のプルダウンに選択したアプリケーションが表示されているのを確認します。

3 下のプルダウンから選択したアプリケーションで使用するグラフィックス能力を選択します。

4 「適用」をクリックします。

ワンポイント

プルダウンリストに載っていないアプリケーションは、「グローバル設定(自動選択)」になっています。

Sound Blaster X-Fi MB3

Sound Blaster X-Fi MB3 の起動および、使用方法について説明しています。

Sound Blaster X-Fi MB3 の設定を行うことで、より臨場感のあるダイナミックなサウンドをお楽しみいただけます。

Sound Blaster X-Fi MB3 の設定

1. Sound Blaster X-Fi MB3 の設定を実行します。



タスクトレイの「Sound Blaster X-Fi MB3」をクリックします。

2. Sound Blaster X-Fi MB3 の設定が起動します。



メニューを表示します。

各項目をクリックすると、設定項目が切り替わります。



マイクとスピーカーのボリュームを調節できます。

各項目で設定した状態を保存、削除することができます。
また必要に応じて、これらの設定はエクスポートまたはインポートすることができます。



SBX Pro Studio

各種パラメータの調節 / 有効 / 無効の変更ができます。

CRYSTALIZER

音の臨場感の調節ができます。

SURROUND

サラウンドのレベルを調節できます。

BASS

サラウンドシステムの低音のレベルを向上させます。

DIALOG PLUS

映画等で台詞の聞こえやすさを調節できます。

SMART VOLUME

急な音量の変化を抑えるために、自動で音量を調節する設定ができます。



Scout Mode

Scout Modeを有効にすることで、FPSなどのGAMEにおける足音などが聞き取りやすくなり、相手プレイヤーの存在を音で捉えることが容易になります。

Voice FX

マイク音の音質を調節することができます。



EAX エフェクト & EQ

EAX エフェクトと EQ の設定ができます。



詳細設定

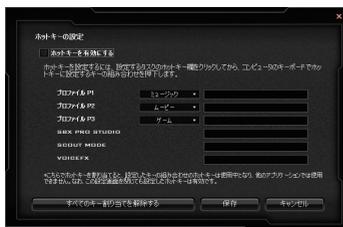
スピーカー/ヘッドホンの構成の設定ができます。



ホットキーの設定画面を出します。

ホットキーの設定

各種設定のホットキーを設定することができます。



メニュー

Sound Blaster X-Fi MB3 のスピーカー設定や、言語選択などを行うことができます。

**Windows の起動時に Sound Blaster X-Fi MB3 設定を起動します**

Windows が起動した時点で、「Sound Blaster X-Fi MB3 設定」を起動する設定を行います。初期設定は有効になっています。

デフォルトに戻す ...

各設定内容を初期状態に戻します。

再生デバイスの選択 ...

「Sound Blaster X-Fi MB3」が使用するオーディオデバイスを設定します。

録音デバイスの選択 ...

「Sound Blaster X-Fi MB3」が使用する録音デバイスを設定します。

ソフトウェアの言語選択 ...

「Sound Blaster X-Fi MB3 設定」上で使用される言語を設定します。初期設定では、Windows の OS 設定に準拠しています。

ソフトウェア アップデート ...

「Sound Blaster X-Fi MB3 設定」のアップデートを行います。ネットワークを使用するため、アップデートを行う場合はインターネットへの接続を行ってください。

Sound Blaster X-Fi MB3 バージョン情報 ...

「Sound Blaster X-Fi MB3 設定」のバージョン情報を確認できます。

CHAPTER 4

BIOS 設定

1 ● BIOS 設定について	60
-----------------------	----

BIOS 設定について

本項目をご確認の上、必要な場合のみご使用環境に適した設定を行ってください。
BIOS 設定を間違えるとパソコンが起動しなくなる可能性があります。

BIOS とは、Basic Input Output System の略で、パソコンを動作させるためのプログラムです。この BIOS 設定を正しく行うことで、パソコンの性能を正しく引き出すことができます。本製品ではあらかじめ、最適の状態での BIOS 設定がされています。ただし、使用環境によっては、BIOS の設定を変更する場合があります。

BIOS 設定画面の起動

1. 電源をオンにして、「F2」キーを続けて打ちます。しばらくすると BIOS 設定画面が表示されます。

注意

「F2」キーを打つタイミングが遅れると、BIOS 設定画面が表示されません。表示されなかった場合は、再度、手順「1」の操作を行ってください。

BIOS 実行キー

機能キー	指令	説明
ESC	終了	サブメニューを終了して、前のメニューに戻ります。または Exit 画面に移動する際にも使用します。
Enter	サブ画面へ移動	サブメニューを表示します。
F1	ヘルプ	ヘルプ画面を表示します。
F4	保存して終了	変更を保存して、パソコンを再起動します。
←→	領域の選択	前または次のメニューを選択します。
↑	項目の選択	次の上の項目を選択します。
↓	項目の選択	次の下の項目を選択します。
-	より低い値	領域に次の値を選択します。
+	より高い値	領域に次の値を選択します。

BIOS 設定の変更

BIOS 設定画面は、いくつかの項目に分かれています。各項目のメニューについて説明します。
※ 構成により、表示される内容が一部異なる場合がございます。

Main

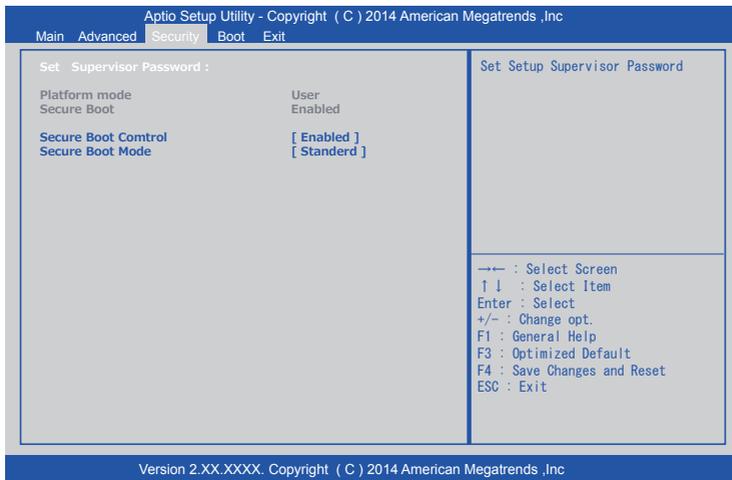
System Date:
MM/DD/YY(月 / 日 / 年) の形式で現在の日付を入力します。

System Time:
HH:MM:SS(時 : 分 : 秒) の形式で現在の時刻を入力します。

Advanced

基本動作の設定を行います。通常は設定の必要がありません。

Security



Set Supervisor Password:

BIOS 設定を行うためのパスワードを設定することが可能です。

※パスワード保護の利用

アドミニストレーターパスワードとユーザーパスワードの2つのレベルで利用可能です。

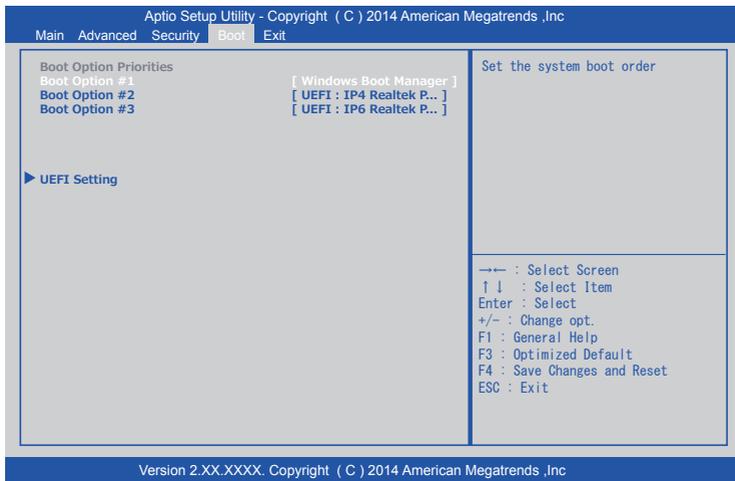
1. ユーザーパスワード (User Password)
電源を入れると、毎回パスワードを要求します。
2. アドミニストレーターパスワード (Administrator Password)
BIOS 設定画面に入る時のみ、パスワードを要求します。

設定したパスワードは NVRAM に保存されます。

※注意※

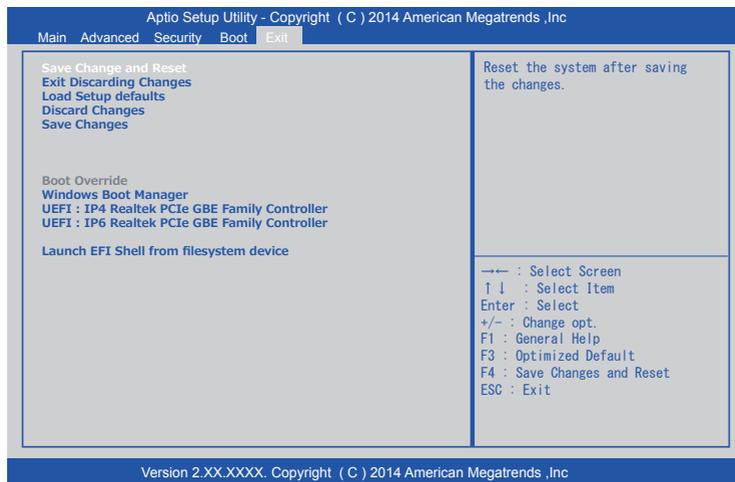
パスワードをお忘れになりますと、以後、BIOS 設定が不可能になります。その場合、弊社工場での初期設定（有償対応）が必要となります。必要時以外は設定を行わないことをお勧めいたします。

■ Boot



起動ドライブの順番を変更することが可能です。

■ Exit

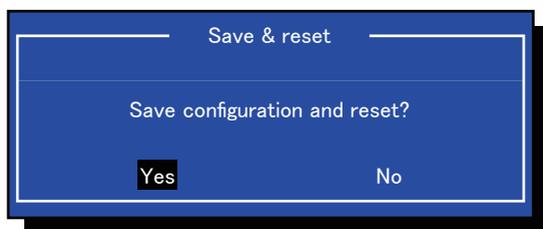


Exit Discarding Changes:

BIOS 設定の変更を保存しません。

Load Setup Defaults:

BIOS 設定をデフォルト値に戻します。すべての BIOS 設定画面上で、【F3】キーを押しても同様の操作が可能です。



Save Change and Reset :

BIOS 画面で設定した内容を保存します。保存の完了後に自動での再起動になります。変更内容は次のパソコン起動中に適用されます。

CHAPTER 5

ご使用に関して

1 ● バッテリーの使用方法	66
2 ● クリーニング	68
3 ● Windows の再インストール	70
4 ● デバイスドライバのインストール	84

バッテリーの使用方法

バッテリーの使用方法について説明しています。

概要

■ バッテリーパック

リチウムイオンバッテリーが搭載されています。ACアダプタを接続しない状態でも、バッテリーパックに充電された電力でパソコンを動作させることが可能です。

※注意※

初回のバッテリー充電(フル充電)には、約6時間の充電が必要となります。
スリープモードでは、3~5日でバッテリーの電力を失います。
パソコンを使用していない状態でも、バッテリーの電力は約一カ月で失われます。

■ バッテリー残量警告

バッテリー残量が電源オプションの設定値まで低下した場合、画面右下にポップアップで警告が表示されます。

※「バッテリー低下の通知」が「オフ」に設定されている場合表示されません。
詳細な設定は CHAPTER2 「2. 電源オプションの利用」をご参照ください。

※注意※

バッテリー警告が表示されたら速やかに AC アダプタを接続して再充電を行うか、それまで作業していたファイルを保存して、パソコンの電源をオフにしてください。
また、0℃以下および60℃以上の環境で保管しないでください。バッテリーパックに有害な影響を及ぼす可能性があります。

■ バッテリーの充電と充電時間

バッテリーをノートパソコンに搭載して AC アダプタを接続します。電源コンセントから電力を供給することでバッテリー充電が可能です。充電時間はパソコン使用中に約 6 ～ 10 時間、電源オフでは約 4 ～ 6 時間でフル充電となります。フル充電になるとバッテリー LED は緑色に点灯します。

■ バッテリー残量の確認

Windows のタスクトレイにあるバッテリーインジケータでバッテリー残量を確認することが可能です。

■ バッテリー寿命について

以下の点に留意していただくことで、効率的なバッテリー活用が可能となります。

- ・可能な限り AC アダプタを使用して外部から電源を供給する。
- ・温度に注意する。高温多湿な環境や非常に低い温度環境での使用はバッテリーだけでなくノートパソコンにも悪影響を及ぼします。
- ・バッテリーは繰り返しの充電が可能です。ご使用の環境やご使用方法によって、その回数が異なります。

※注意※

バッテリーの性能を保つため、定期的（約 3 ヶ月に 1 度）にバッテリーの放電とフル充電を行ってください。

【作業方法】

パソコンの電源をオンにしたらすぐに BIOS 設定画面を表示させ、そのままの状態ですべてのバッテリーを完全消費させます。その後 AC アダプタを接続しフル充電を行います。

2

クリーニング

パソコンのお手入れの仕方を説明しています。

準備するもの

- 軽い汚れのとき
 - ・ 乾いたきれいな布
- 汚れがひどいとき
 - ・ 水かぬるま湯を含ませて固く絞った布

ワンポイント

OA用クリーニングキットや薄めた中性洗剤などがあると便利です。

※注意※

シンナーやベンジンなど揮発性の有機溶剤は使用しないでください。また、これらの有機溶剤を含む化学ぞうきんも使用しないでください。製品を傷め故障の原因になります。

注意

水やぬるま湯などの液体をパソコン本体や周辺機器に直接かけないでください。故障の原因になります。

パソコン本体・周辺機器の掃除

1. 外側の汚れをふき取ります。

以下の製品は、やわらかい素材の乾いた布で拭いてください。また、汚れがひどい場合は水かぬるま湯を含ませ固く絞ってから拭いてください。
薄めた中性洗剤を使用して拭いた場合は、水かぬるま湯を含ませ固く絞った布で二度拭きしてください。

- ・パソコン本体
- ・キーボード
- ・タッチパッド
- ・ディスプレイの画面以外の部分

注意

必ずパソコン本体や周辺機器の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。感電の可能性があります。

注意

固いものでこすったり、強く押さえつけたりすると、故障や破損の原因になります。



液晶パネルは乾いた布で、なでるように拭いてください。



通気口

※注意※

パソコンの背面・底面にある通気口のコホリは定期的に取り除いてください。コホリが通気口を塞いでいると、パソコン内部の温度が上昇します。製品の故障や破損の原因となります。

Windows の再インストール

システムの復元でも回復できないような致命的な問題が Windows 上に発生した場合、Windows を再インストールすることで問題を解決します。

※注意※

Windows7 の再インストール作業を行うと、ハードディスク内にあるデータはすべて消去されます。必要なデータが残っている場合は、バックアップを取ってから作業を行ってください。

本製品には、光学ドライブが搭載されておりません。再インストールを実行する際は、別途 USB 接続の光学ドライブをご用意ください。

Windows を再インストールする際の注意事項

本製品には再インストールの際に必要なドライバーディスクを同梱しておりません。

Windows の再インストールを行う際にはあらかじめ以下の手順にてドライバーの準備をお願い致します。(ドライバのダウンロードにはインターネット接続が必要です)

■ 弊社サポートページ (http://www.2.mouse-jp.co.jp/ssl/user_support2/sc_download.asp)

から本体のシリアルで検索すると、対応したドライバーのダウンロード一覧が表示されます。

ご使用の機種種の FAQ ページのリンクを選択し、ドライバーのダウンロードを行い、FAQ に従って適用を行ってください。

■ ドライバのダウンロード

お客様の製品のシリアル番号を入力いただくことで、必要なドライバーをご確認いただけます。

① シリアルNo.とは?

② ドライバのダウンロードヘルプ

シリアル No.

検索

- ・シリアル No 欄に製品のシリアル番号を入力して検索ボタンをクリックします。
- ・検索結果に対応したドライバーの FAQ が一覧に表示されますので、OS の種類を確認して、ドライバーのダウンロードを行い、FAQ に従って適用を行ってください。

※ インターネットにつなげない場合は、接続可能な別のパソコンからご参照の上、ドライバのダウンロードを行ってください。

Windows7 の再インストール

※注意※

Windows7 の再インストール作業を行うと、ハードディスク内にあるデータはすべて消去されます。必要なデータが残っている場合は、バックアップを取ってから作業を行ってください。また、USB 記憶装置などは、本体から取り外した状態で作業を行ってください。

1. 電源を投入し、「Enter」キーを続けて打ちます。

ワンポイント

DVD から Windows7 セットアップを起動する

Windows7 のインストールは、専用のインストール DVD を使用します。パソコンを起動する前にインストール DVD は光学ドライブに入れておきます。パソコンの起動直後に「Press any key to boot from CD or DVD…」と表示されているときに「Enter」キーを続けて打ちます。

Windows7 が通常に起動した場合は、「Enter」キーを打つタイミングがずれていた可能性があります。再起動して、もう一度、同じ操作をお試しください。



「Windows7 インストール DVD」をパソコンに挿入しておきます。

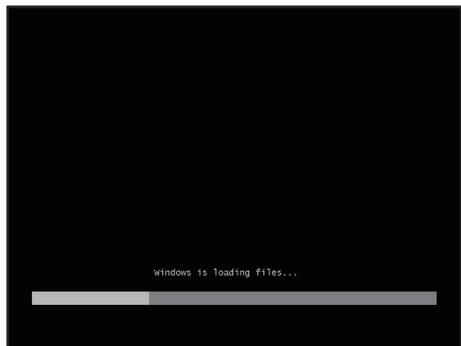
「Press any key to boot from CD or DVD…」と表示されているときに【Enter】キーを続けて打ちます。

2. Windows のファイルの読み込みが始まります。

Windows のファイル読み込みが完了するまで、しばらくお待ちください。

注意

ブートデバイスの順番設定機種によっては、BIOS 画面にてブートデバイスの変更を行う必要があります。「CD/DVD」デバイスがブートデバイスの一番に設定されているかを確認してください。

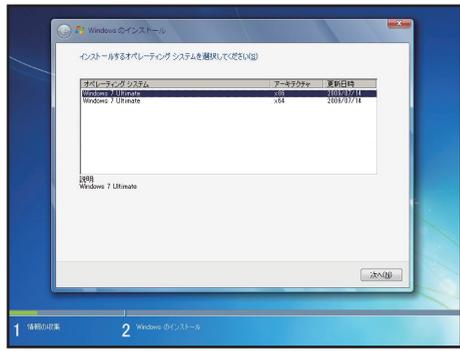


3. インストールの初期設定が始まります。



インストールの初期設定が完了するまで、しばらくお待ちください。

4. OS の bit を選択します。



インストールする bit を選択してください。

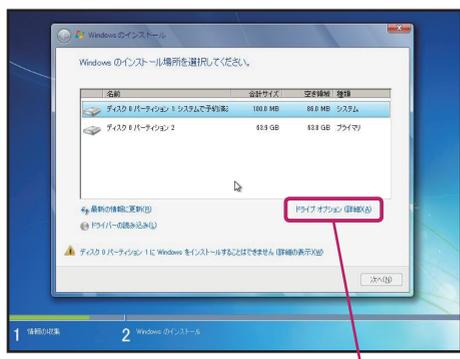
ワンポイント

OS 動作上での bit の切り替えはできません。再度変更する場合には、OS 再インストールを行う必要があります。

bit について
OS の動作機構を示すものです。64bit の場合は、x64 を、32bit の場合は、x86 を選択してください。

出荷時の設定から 32/64bit を変更した場合の動作保証は行っておりません。bit 数を変更することにより、システムが認識するメモリ容量、アプリケーション・周辺機器などの動作が変わる場合がございます。

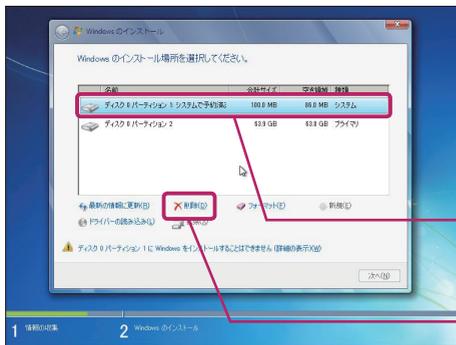
5. 「ドライブオプション」を表示します。



Windows のインストール場所を選択してください。まずは Windows をインストールするパーティションを初期化するために、「ドライブオプション」を表示します。

「ドライブオプション」をクリックします。

6. システム領域のパーティション情報を削除します。



「ディスク0パーティション1」のパーティション情報を完全に削除します。

1 上の領域をクリックします。

2 「削除」をクリックします。

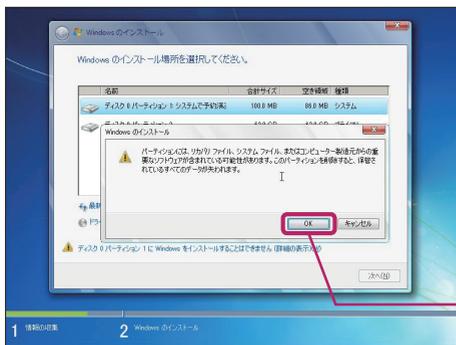
ワンポイント

パーティションとは

ハードディスク全容量もしくは、任意の容量で区切られた領域を「パーティション」と呼びます。一台のハードディスクを複数の領域に区切って、あたかも複数台のハードディスクがあるかのように利用することができます。

パーティションが複数あるPCの場合は、この中の一つのパーティションにWindows7をインストールすることになります。

7. 「削除」の確認を行います。



本当に現在のパーティションを削除しても良いかの確認が行われます。

「OK」をクリックします。

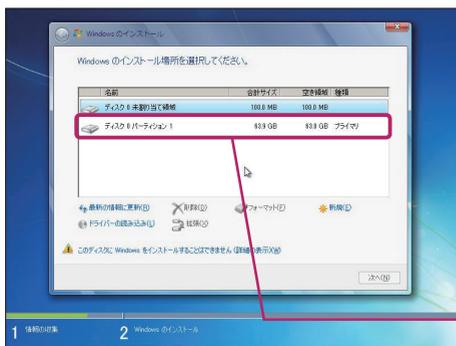
注意

パーティションの削除

パーティションの削除とは、フォーマット（初期化）では削除できない領域（パーティション）の情報を削除することです。

パーティションを削除しなくても、「フォーマット」することで、パーティションに記録されたデータは削除されます。パーティションの削除でもデータの消去が行われます。

8. OS がインストールされていた領域を選択します。



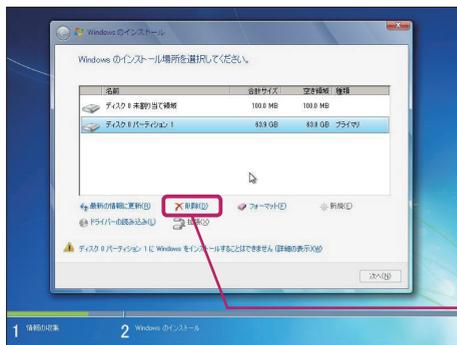
下の領域をクリックします。

ワンポイント

パーティション番号

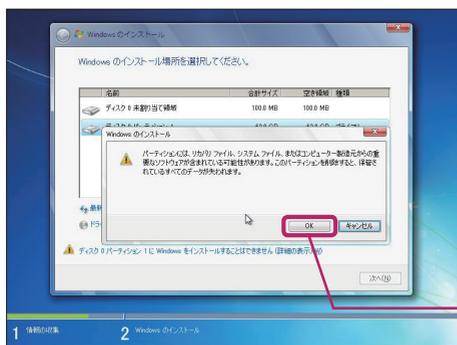
先に作成されたパーティションから順番に自動登録されます。パーティションを削除した場合は、その領域が「未割り当て領域」となり、以降のパーティションに登録された番号を詰めて表示します。

9. パーティションの削除を行います。



「削除」をクリックします。

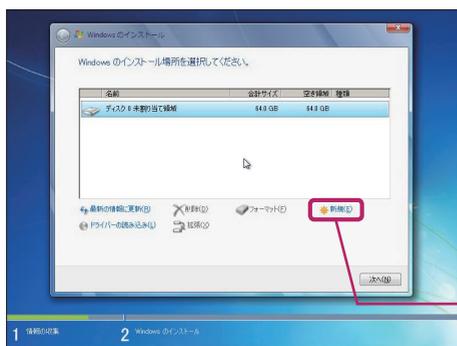
10. 「削除」の確認を行います。



本当に現在のパーティションを削除しても良いかの確認が行われます。

「OK」をクリックします。

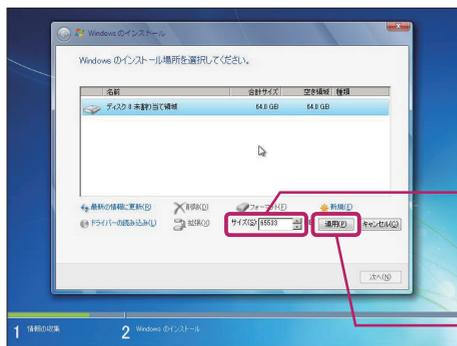
11. パーティションを作成します。



Windows7 をインストールするためのパーティションを作成します。

「新規」をクリックします。

12. パーティションの容量を設定します。



Windows7 をインストールするパーティションの容量を設定します。

1 パーティションの容量を設定します。

2 「適用」をクリックします。

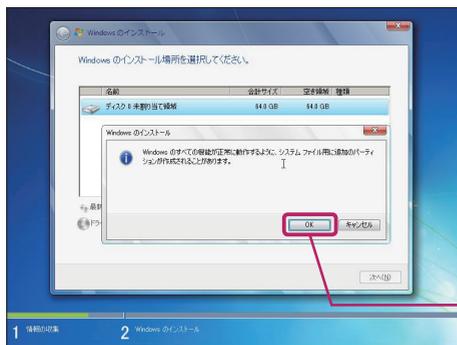
ワンポイント

パーティションの容量について

1つのパーティション (Windows7 上ではドライブ) の容量を設定します。初期状態ではパーティションに設定可能な全容量が指定されていますので、そのまま「適用」をクリックしてください。

パーティション分割を行う場合には、Windows7 をインストールするパーティション用に任意の容量を設定してください。

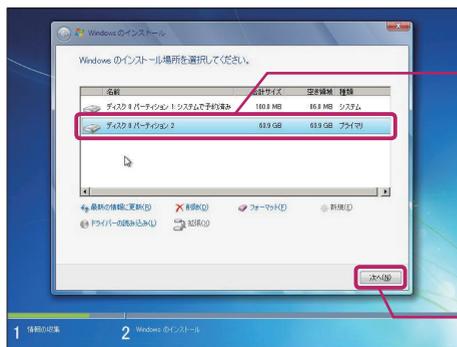
13. システム用パーティション作成に了承します。



Windows7 により、自動でシステム用のパーティションを作成します。これの了承を求められます。

「OK」をクリックします。

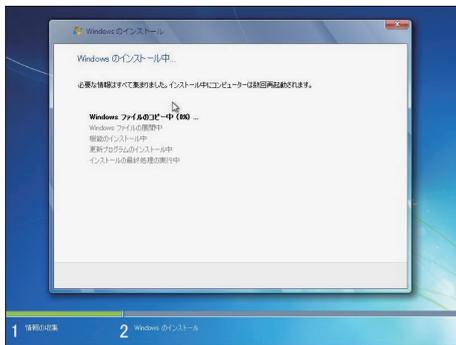
14. Windows7 のインストール先を選択します。



1 「ディスク0パーティション2」をクリックします。

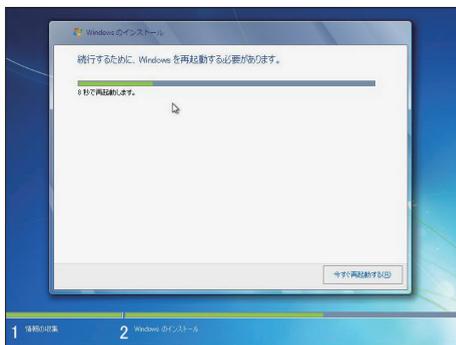
2 「次へ」をクリックします。

15. インストール開始です。



Windows7のインストールが開始されます。しばらくお待ちください。

16. ファイルコピー後の再起動です。



自動で再起動が行われます。

17. 再起動後の準備画面です。



そのまま操作を行わないでください。

注意

Windows7 インストール中のDVD起動画面について
Windows7のインストール中、何度か再起動を行います。その際にこの画面が表示されることがありますが、操作は行わないでください。

STEP1と同じ操作を行った場合、Windows7のインストールが中断されま

18. Windows7 インストール中です。



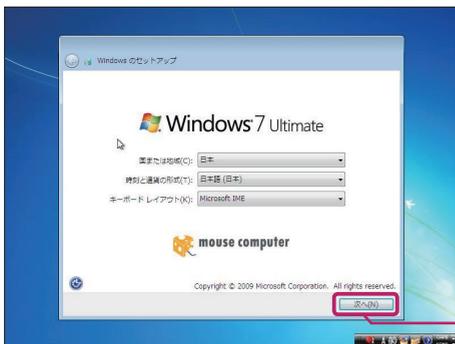
注意

Windows7 インストール中は操作を行わない

Windows7 のインストールが開始されると、途中画面が切り替わりながらパソコンが再起動します。次項「ユーザー名とコンピューター名」の画面が現れるまで、キーボード・マウスの操作を行わずにそのままお待ちください。

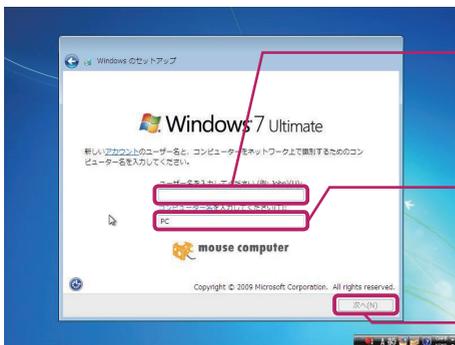
インストール中、何度か再起動がかかります。何もボタンを押さずにお待ちください。

19. Windows7 の設定を開始します。



「次へ」をクリックします。

20. ユーザー名とコンピューター名を入力します。



1 「ユーザー名」を入力します。

2 「コンピューター名」を入力します。

3 「次へ」をクリックします。

ワンポイント

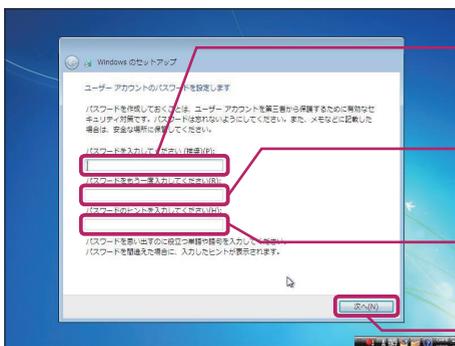
ユーザー名

Windows7 上で、個人を示す登録名です。お気に入り・ライブラリ等、個人別のデータはユーザー名の管理下に保存されます。

コンピューター名

Windows7 上で、主に複数台のパソコンをネットワークで接続した際に、識別するための登録名です。特別設定をしない場合には、初期の名称のまま変更の必要はありません。

21. パスワードを入力します。



1 パスワードを入力します。

2 確認のためパスワードをもう一度入力します。

3 パスワードのヒントを入力します。

4 「次へ」をクリックします。

ワンポイント

パスワード

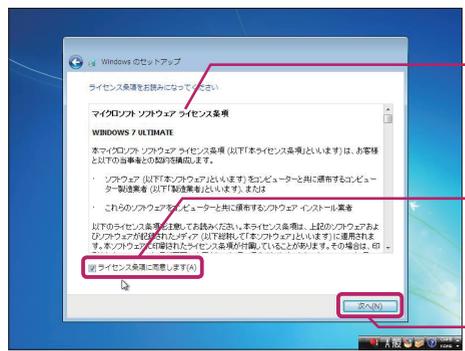
Windows7 にログインする時に入力する認証文字列です。半角英数字のみ登録可能です。未設定でご使用可能ですが、不特定多数のユーザーが使用できないようにパスワードの設定を行ってください。

パスワードのヒント

パスワードを忘れた時に、ログイン画面に表示されるヒントを入力します。尚、パスワード設定時は入力必須となります。

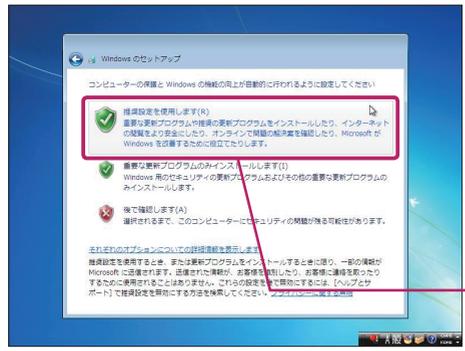
パスワードを忘れてログインできなくなった場合、Windows7 の再インストールが必要になります。

22. ライセンス条項に同意します。



- 1 マイクロソフトのライセンス条項を読みます。
- 2 「同意します」をクリックして、チェックを入れます。
- 3 「次へ」をクリックします。

23. コンピューターの保護設定を行います。



「推奨設定を使用します」をクリックします。

24. コンピューターの設置場所を選択します。



「ホーム ネットワーク」をクリックします。

ワンポイント

ここで、利用可能なワイヤレスネットワークが存在する場合には、ワイヤレスネットワーク接続の画面が表示されます。

25. ネットワーク設定中です。



しばらくお待ち
ください。

26. OS 設定中です。



27. 「ようこそ画面」が表示されます。



28. インストール最終処理中です。



最終処理を行っています。しばらくお待ちください。

29. Windows7 が起動します。



Windows7 が起動します。

30. 各種ドライバのインストールを行います。

Windows7 インストール作業終了後は、別途サポートページからダウンロードいただいた、各種ドライバのインストール作業を行ってください。

「ドライバ」とはパソコンに搭載されている各ハードウェアを Windows7 上で認識・動作させるためのソフトウェアです。